

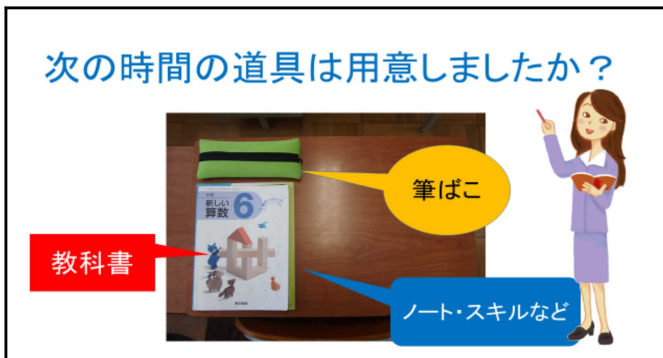
ユニバーサルな指導の工夫

1 授業と休み時間の区別をはっきりと付ける。

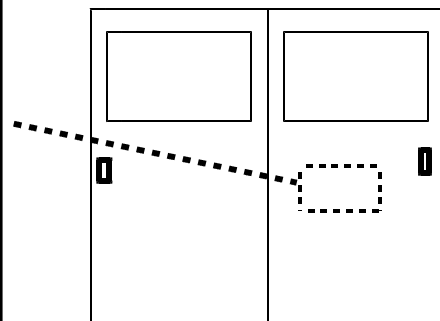
(1) チャイム始業、チャイム終業

- ・チャイムと同時に号令をかけ、チャイムと同時に終了する。
- ・教室を移動する時は、間に合うように早めに移動する。移動は無言で移動する。おしゃべりしながら移動すると、次の授業にまで、騒がしい雰囲気を引きずってしまう。

(2) 次の授業の準備をしてから休み時間にする。(机に何を置いておくか示す)



*教室の出口に掲示する。



2 授業中のきまり

(1) 机の上には教科書、ノート、筆箱を置く。下敷きは必ず使う。

(2) 指示を視覚化する

めあて も なんだい ま とめ よ そう け っか か ん そう などのカードを使う。

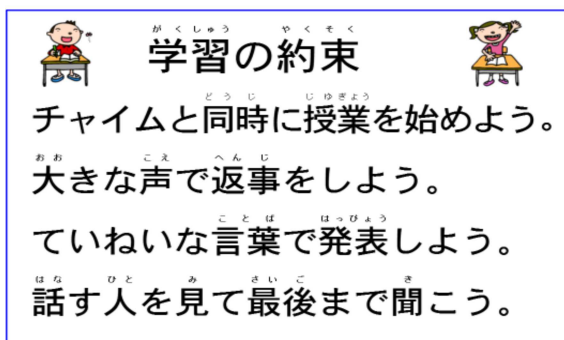
- ・黒板に授業の流れを示し、見通しをもって学習できるようにする。
- ・「聞く・見る・書く・話す」カードを使い指示を視覚で示す。



*授業の流れ

- 1 めあて
- 2 予想しよう
- 3 自分で考えよう
- 4 友達と考えよう
- 5 まとめ
- 6 ふりかえり

(3) 発表の時は、「です、ます」の言葉遣いで発表する *教室前面に掲示する。



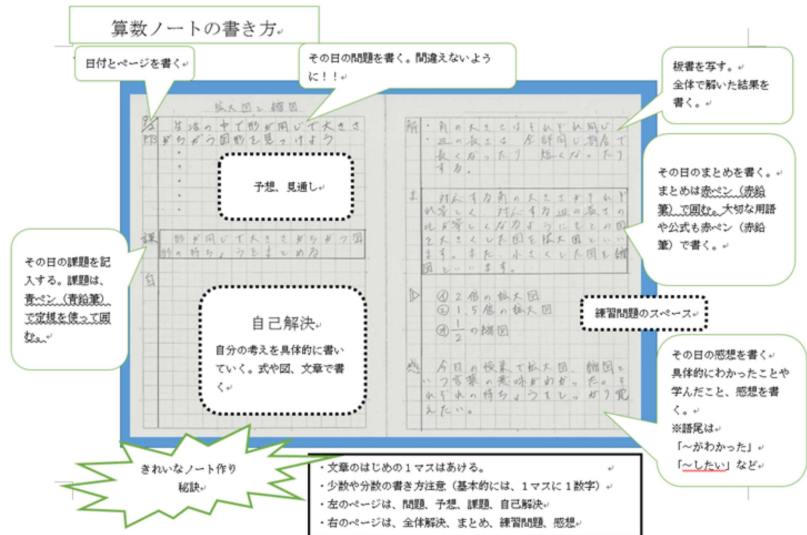
(4) ノート指導の工夫（ノートは写すだけでなく活用する）

① ノートの役割を共通理解し、児童にも伝える。

- ・ ノートを見やすくし、授業内容の理解を助ける。
- ・ 振り返り（ノートを使った復習）をする。
- ・ 学年が代わり、指導者が替わっても児童が混乱しないようにする。

② 書式を統一する。

- ・ 日付、ページ、単元名、問題番号を書く。
- ・ めあてを書く。
- ・ 書き出しの列をそろえ、マスや行に文字をそろえる。（はみ出さない）
- ・ 大切なところは、色を使い分けて書く。（赤、青鉛筆、マーカー）
- ・ 大切なこと（「まとめ」など）は線で囲んで「コラム化」する。



- ・ 線を引くときは定規を使う。（分数、筆算の時も使う）

③ 良いノートを紹介するなどして、教室内で共有化を図る。

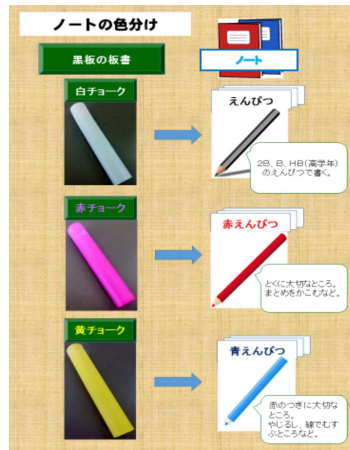
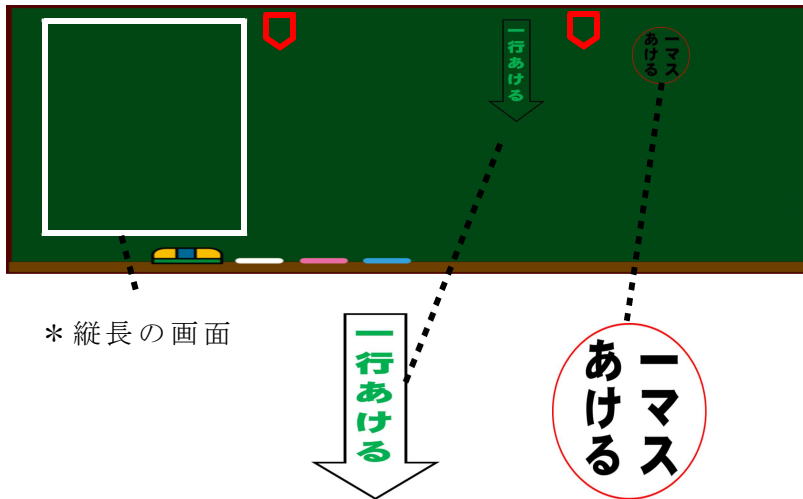
④ 「書く時間」「考える時間」を確保し、黒板を写すだけで満足させない。高学年は教師の言葉をメモしたり、必要なことを書き加えたりして構造化する。

(5) 板書とノートをリンクさせる。

- ・ 黒板を3分割してノートと同じ縦長の画面をつくる。低学年は必要に応じてマス目黒板を使う。
- ・ 「1マスあける」「1行あける」の表示を使い視覚的に分かるようにする。
- ・ チョークの色と鉛筆、赤、青鉛筆の色を合わせる。

* 黒板を3分割


* チョークの色分け




3 学習環境の整備

(1) 登下校の時にすることを掲示する


朝(あさ)




① 道具(どうぐ)を机(つくえ)に
入れる





② ロッカーに
ランドセルを
入れる



③ 宿題(しゅくだい)
をだす




④ 1時間目の道具
(どうぐ)を机(つくえ)
の上に出し 読書
をしてしずかに待つ




帰り(かえり)



① ランドセルをと
りにいく



② 机(つくえ)の
道具(どうぐ)をラ
ンドセルに入れる



③ 帰りの会がはじまる
までしずかに待つ



(2) 教室の前面には重要なものしか掲示しない。